

411LA

E&I 広帯域RFパワーアンプ



特徴

- 150KHz ~ 300MHz
- 全帯域でクラスA増幅
- 10W 1dB コンプレッション
- オールソリッドステート
- 空冷、コンパクトデザイン

クラスA 10W出力！

- 超音波
- 各種テスト
- 研究開発 等々
- 数々のアプリケーションに安心して使用できる、クラスAリニア広帯域RFパワーアンプです。

411LA広帯域RFパワーアンプは、極めて堅牢なRFアンプで、超音波、HFやVHF送信機、RFI/EMIテスト、核加速器、プラズマ装置、一般研究用などに適しています。

411LAはE&I社のポリシーでもある高品質、耐久性、堅牢性を備えた製品として作られています。

使いやすさ

411LAは、150KHz～300MHzの全レンジにおいて10WのクラスAリニア出力を保証し、高調波歪やIMDは大変低く抑えられています。

全帯域をカバーする為のバンド切替はもとより調整等は一切必要なく、常に40dB (Typ)のゲインが得られ偏差は帯域内で±2.5dBです。

411LAは一般に使われているほとんどの信号発生器、周波数シンセサイザ、ス

ープジェネレータなどを信号源として使用することができ、AM、FM、SSB、パルス、複雑な変調波に対しても優れた波形再現性を示します。

堅牢設計

411LAは13dbm (1Vrms/50 Ω)の入力やいかなる負荷VSWRにも耐えられるよう設計されています。

内部のスイッチング電源は、広いACライン条件に対しても安定した動作が得られるよう余裕をもった定格になっており、強制空冷は長期間信頼性が得られるよう内部温度を低く抑えます。

動作クラス

クラスA

周波数レンジ

150 KHz ~ 300 MHz

定格出力

10 W

ゲイン

40 dB

ゲイン偏差

+/- 2.5 dB

定格出力を得る為の入力値

1.0 mW / 0 dbm

入力インピーダンス

50 Ω

出力インピーダンス

50 Ω

高調波レベル

< -22 dBc @ 10 W出力時

入力信号源の仕様

信号発生器、ファンクション・ジェネレータ
または、0.1mW/50Ωまでのオシレータ

耐久性

∞ : 1 VSWR

保護

入力：最大+13 dBm (1.0 V rms) までの過
入力とVSWR無限大の負荷に耐える。

3次インターセプトポイント

IP3: + 49 dBm

AC入力電圧範囲

100 ~ 240 Volts 47 ~ 63 Hz

3 A @ 120 V

1.5 A @ 240 V

動作時環境温度

0 ~ 40°C

冷却

強制空冷

質量

20 lbs (9 Kg)

サイズ

190.5mm(H) X 241.3mm(W) X 317.5mm(D)



Electronics and Innovations, Ltd.

150 Research Blvd.

Rochester, NY 14623

Tel: (585) 214 0598

Fax: (585) 214 0580

<http://www.eandiltld.com/>

日本総代理店：

アロニクス株式会社

〒144-0033

東京都大田区東糞谷6-4-17

OTAテクノCORE305

TEL:03-5737-8333 FAX:03-5737-8334

Website: <http://www.alonics.co.jp>

E-mail: info@alonics.co.jp